

小・中学校理科教員の博物館利用に関する意識調査について

鈴木 敏之

Research of the Science Teachers' consciousness for the utalization of Museum

Toshiyuki SUZUKI

はじめに

鹿児島県立博物館は、鹿児島市の中心地に位置する自然史系博物館である。鹿児島県内の自然をテーマに「資料収集保管」「調査研究」「展示活動」「教育普及活動」の4つの事業を柱に企画・運営を行っている。このうち、特に、「展示活動」や「教育普及活動」に関しては、本館の利用者の中心となる児童・生徒および小・中学校教員の意識やニーズ等を把握、分析し、今後の企画・運営に役立てていくことが重要である。今回、平成20年度と21年度の2回にわたり、鹿児島市内小学校・中学校の理科担当教員の博物館に関する利用状況や意識について調査する機会を得ることができたので、ここにその結果を報告する。

1 アンケートの実施および結果

平成20年6月と平成21年6月に鹿児島市の小・中学校理科主任等研修会に出席した理科担当教員に協力を得て「博物館利用に関するアンケート」を実施した。アンケートの内容と集計結果は次のとおりである。

(実施日およびアンケート調査協力者)

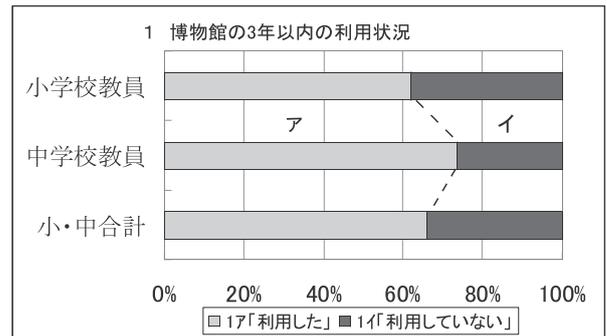
- 平成20年6月実施小・中理科主任等計100人
(小学校66人・中学校34人)
- 平成21年6月実施小・中理科主任等計72人
(小学校46人・中学校26人)

〔アンケート1〕

鹿児島県立博物館を最近3年間以内で利用したことがありますか

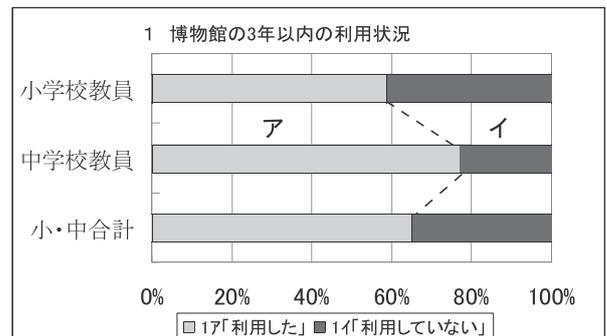
【平成20年度】

ア「利用した」 小：41人，中：25人，計66人
イ「利用していない」小：25人，中：9人，計34人



【平成21年度】

ア「利用した」 小：27人，中：20人，計47人
イ「利用していない」小：19人，中：6人，計25人



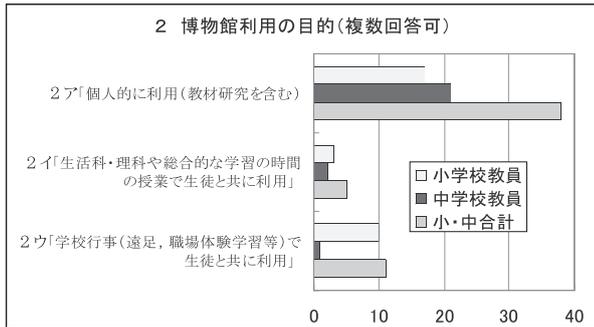
〔アンケート2〕

どのような目的で博物館を利用されましたか
(1で「ある」と回答した者のみ/複数回答可)

【平成20年度】

- ア「個人的に利用(教材研究含む)」
小：25人，中：19人，計44人
- イ「理科・生活科や総合的な学習の時間に児童・生徒と共に利用」
小：7人，中：3人，計10人
- ウ「学校行事で児童・生徒と共に利用」
小：10人，中：3人，計13人

* 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1



【平成21年度】

ア「個人的に利用(教材研究含む)」

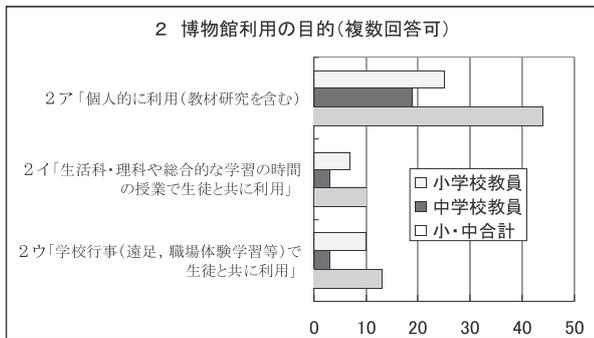
小: 17人, 中: 21人, 計38人

イ「理科・生活科や総合的な学習の時間に児童・生徒と共に利用」

小: 3人, 中: 2人, 計5人

ウ「学校行事で児童・生徒と共に利用」

小: 10人, 中: 1人, 計11人



【アンケート3】

最近3年間で博物館を利用したことがない理由
(1で「ない」と回答した者のみ)

【平成20年度】

ア「遠くて利用しにくい」

小: 5人, 中: 0人, 計5人

イ「博物館のことをよく知らない」

小: 1人, 中: 0人, 計1人

ウ「博物館にあまり魅力を感じない」

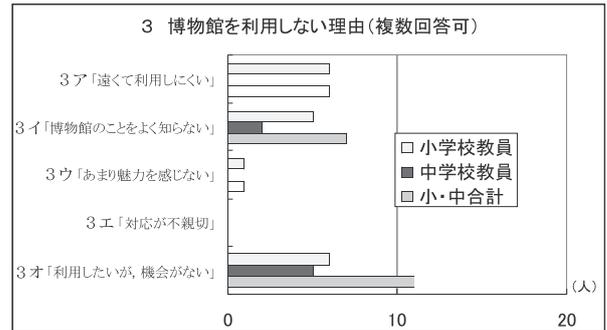
小: 2人, 中: 0人, 計2人

エ「対応が不親切である」

小: 0人, 中: 0人, 計0人

オ「利用したいが, 機会がない」

小: 18人, 中: 8人, 計26人



【平成21年度】

ア「遠くて利用しにくい」

小: 6人, 中: 0人, 計6人

イ「博物館のことをよく知らない」

小: 5人, 中: 2人, 計7人

ウ「博物館にあまり魅力を感じない」

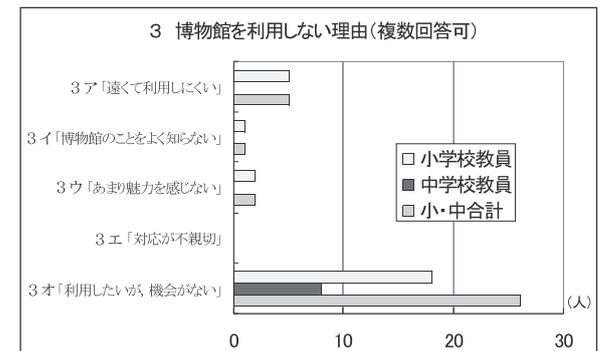
小: 1人, 中: 0人, 計1人

エ「対応が不親切である」

小: 0人, 中: 0人, 計0人

オ「利用したいが, 機会がない」

小: 6人, 中: 5人, 計11人



【アンケート4】

授業または学校内で, 児童・生徒に県立博物館のことを紹介することがありますか。

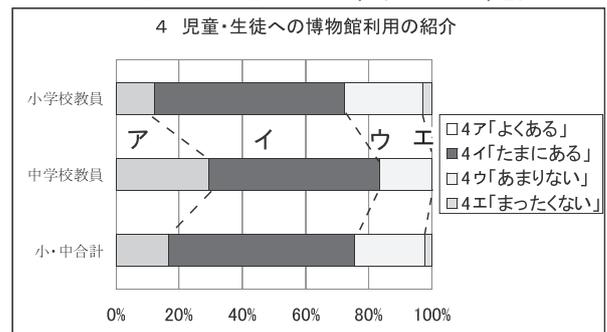
【平成20年度】

ア「よくある」 小: 8人, 中: 7人, 計15人

イ「たまにある」 小: 40人, 中: 23人, 計63人

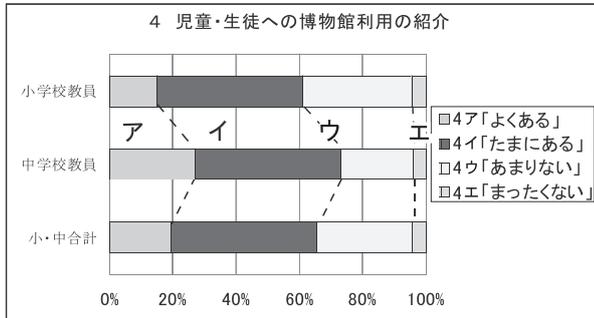
ウ「あまりない」 小: 16人, 中: 4人, 計20人

エ「全くない」 小: 2人, 中: 0人, 計2人



【平成21年度】

ア「よくある」 小：7人，中：7人，計14人
 イ「たまにある」 小：21人，中：12人，計34人
 ウ「あまりない」 小：16人，中：6人，計22人
 エ「全くない」 小：2人，中：1人，計3人

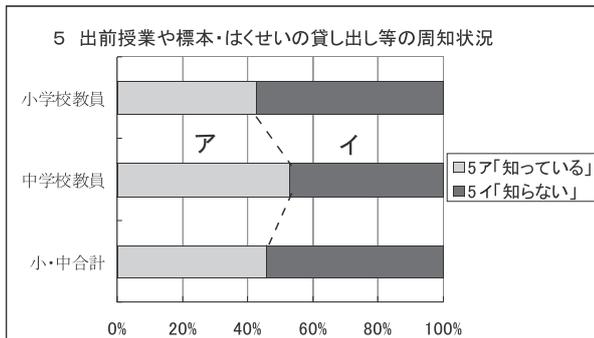


【アンケート5】

県立博物館では常設展示のほかに職員が出向いて自然観察の指導や環境学習等の授業をしたり、はく製や標本等を貸し出ししたりしていることを知っていますか。

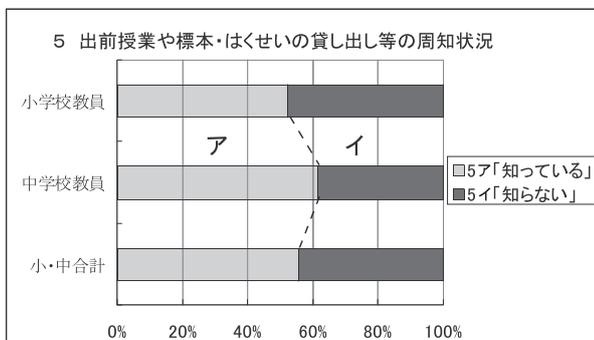
【平成20年度】

ア「知っている」 小：28人，中：18人，計46人
 イ「知らない」 小：38人，中：16人，計54人



【平成21年度】

ア「知っている」 小：24人，中：16人，計40人
 イ「知らない」 小：22人，中：10人，計32人

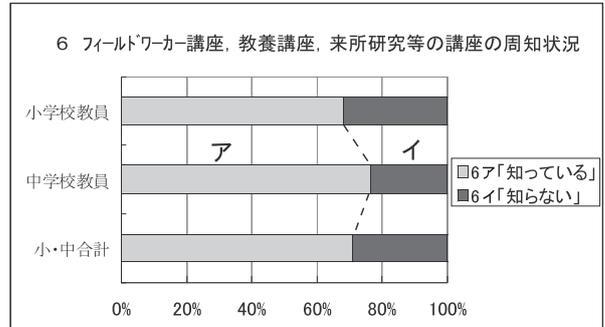


【アンケート6】

博物館では教員対象の講座（フィールドワーカー養成講座，教養講座，来館研修等）があることを知っていますか。

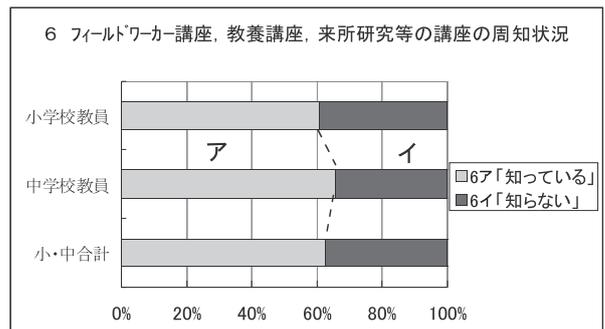
【平成20年度】

ア「知っている」 小：45人，中：26人，計71人
 イ「知らない」 小：21人，中：8人，計29人



【平成21年度】

ア「知っている」 小：28人，中：17人，計45人
 イ「知らない」 小：18人，中：9人，計27人

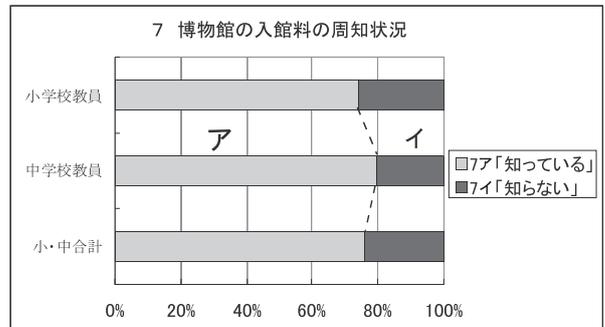


【アンケート7】

県立博物館（別館プラネタリウム室は除く）は入館料が無料であることを知っていますか。

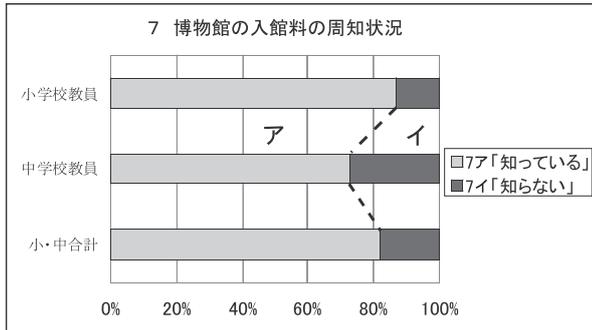
【平成20年度】

ア「知っている」 小：49人，中：27人，計76人
 イ「知らない」 小：17人，中：7人，計24人



【平成21年度】

ア「知っている」 小：40人，中：19人，計59人
 イ「知らない」 小：6人，中：7人，計13人

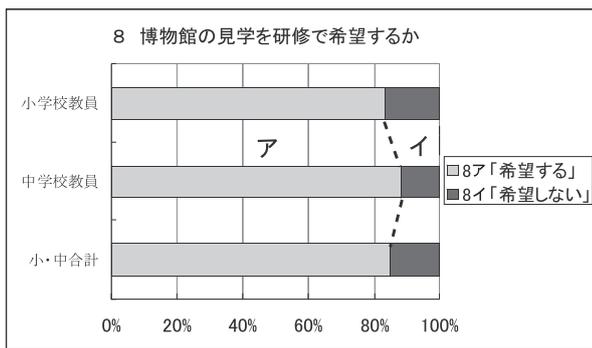


【アンケート8】

機会があれば，学校の理科部等で博物館（収蔵庫等のバックヤードを含む）の見学を希望しますか。

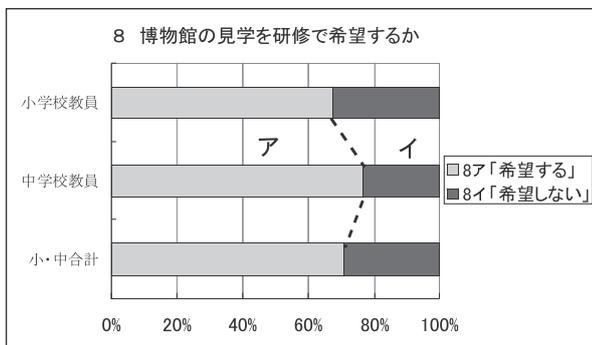
【平成20年度】

ア「希望する」 小：55人，中：30人，計85人
 イ「希望しない」 小：11人，中：4人，計15人



【平成21年度】

ア「希望する」 小：31人，中：20人，計51人
 イ「希望しない」 小：15人，中：6人，計21人



【博物館に関するその他の意見（自由記述）】

（小学校）

・2年ほど前に谷山サザンホールに「移動博物館」が来た折，子どもたちと見学させていただきました。市内にいながら，なかなか博物館へ行く機会

のない子どもたちにとっても楽しかったようです。

- ・以前，奄美に勤務しており移動博物館が来て下さいました。普段，そういうものにふれることが極端に少ない奄美の子どもたちはとても喜んでいました。あの時の瞳の輝きは忘れません。
 - ・テーマがあるとき，資料収集として博物館を利用したい。理科研究等の進め方や研究途中のアドバイス等の企画などがあつたらうれしいです。
 - ・県立博物館の出前授業やはくせい，標本の貸し出しについては意外と学校には知られていないのでは…。
 - ・今回の説明会で理科研究記録展の優秀作品の貸し出しがあることがわかりました。
 - ・学校から遠いので，利用しにくいですが，機会があれば利用したい。
 - ・市立科学館のようにプラネタリウムを含む1つの建物であると利用しやすい。
 - ・市立科学館のプラネタリウムと比べると，多少古い感じがする。
 - ・利用すれば大変有意義だと思いますが，なかなか時間が見いだせないのが現状です。
 - ・理科以外の研修も多すぎて，博物館まで利用できない。
- （中学校）
- ・総合的な学習等で必要な展示物等があれば見学してみたい。
 - ・出前講座を是非お願いしたいが，いつごろまでにどうお願いすればよいのかわからない。（年度初め等に公募があるのか，直接お願いすればいいのかよくわからない）
 - ・市立科学館ができてから，博物館が限られた内容のものになったイメージがある。そこを広げると利用が広がるのでは…。
 - ・博物館利用の際に黎明館の駐車場が使えるということは知らなかった。

2 集計結果から見えてくること（今後の課題）

平成20年度，21年度の2か年間同様のアンケートを実施したが，各項目ともほぼ同じような傾向が見られた。具体的には，鹿児島市内の小・中学校理科担当教員の博物館利用は全体の約6割程度にとどまっている。また，出前授業や標本等の貸出およびフィールドワーカー養成講座や教養講座など教員対象の講座を開講していることについても，広報・募集を行っているにもかかわらず，全体の5～6割程度と意外と知られていないことも明らかになった。

学校での日々の指導や他の研修に追われて，博物

館を活用するゆとりがないと感じている教員も見られる。しかしながら、機会があれば収蔵庫等の施設見学を含めて博物館を利用したいと思う教員も多く、今後このように感じている教員をどのように工夫して博物館に取り込んでいくかが課題である。

おわりに

今年度の鹿児島市小・中理科主任等研修会では、業務説明と共に博物館のディスカバリーセット（授業用貸出セット）を実際に持ち込み、博物館の広報活動を行った。また平成21年5月に行った「博物館まつり」では、博物館の業務を知ってもらうために県立博物館フィールドワーカー養成講座の先生方に企画・運営の一部を依頼した。楽しい実験の講師や城山フィールドワークなどの補佐として、協力していただき企画運営を通して博物館の業務内容について理解してもらえた。

このような地道な活動をはじめ今後、教員が博物館を活用したいと思える魅力ある活動を工夫していくことが必要であり、そのことが自然科学や自然観察の好きな教員、さらには自然科学の好きな児童・生徒を育成することにつながるのではないかと考える。今後も博物館活動を通して学校との連携の在り方について検討していきたい。

参考文献

- ・小学校および中学校学習指導要領（2008）
文部科学省
- ・小学校および中学校学習要領解説理科編（2008）
文部科学省
- ・リーフレット「生きる力」（2008）文部科学省